

英国王立音楽院プレスリリース 訳

<https://www.ram.ac.uk/news/sir-elton-john-global-exchange-programme>

(↑英国王立音楽院サイト内のプレスリリースページ)

才能ある若い音楽家たちのグローバルモビリティと国際的なコラボレーションを促進する新しいプログラムを発表することを誇りに思います。

王立音楽院の主導のもとエルトン・ジョン卿によってサポートされるこのスキームは、2022年9月に開始され、世界トップの12の高等音楽教育機関に所属する学生が王立音楽院との教育交流に参加できるようになります。この交流活動の期間は、集中的な1週間程度の短期から、例外的なケースとして通年に渡るものまでを予定しております。

王立音楽院は200年以上にわたる長い国際交流の歴史を持っており、最も親しく交流活動をしているパートナーの音楽大学のいくつかはこのスキームに参加を表明しています。

交流活動が決定している教育機関は以下となります。

ジュリアード音楽院（ニューヨーク） The Juilliard School (New York)

パリ国立高等音楽・舞踊学校 Conservatoire National Supérieur de Musique et de Danse de Paris

上海音楽学院 Shanghai Conservatory of Music

ヘルシンキ芸術大学シベリウス音楽院 Sibelius Academy of the University of the Arts Helsinki

ウィーン音楽大学 mdw - University of Music and Performing Arts Vienna

ハンス・アイスラー音楽大学（ベルリン） Hanns Eisler Academy, Berlin

香港演藝學院 The Hong Kong Academy for Performing Arts

シドニー音楽院 Sydney Conservatorium of Music

ミュンヘン音楽・演劇大学 University of Music and Performing Arts, Munich

レイナ・ソフィア音楽学校（マドリッド） Reina Sofia School of Music (Madrid)

トロント王立音楽院 グレン・グールド学校 The Glenn Gould School of The Royal Conservatory of Music, Toronto

東京藝術大学音楽学部、音楽研究科 Tokyo University of the Arts Faculty of Music and Graduate School of Music

英国王立音楽院のジョナサン・フリーマン・アットウッド（CBE）院長は、「急速に変化する世界的な情勢の中で、音楽学校は将来を見据えて進化し、若い芸術家のための新しい機会を作り出さなければなりません。その中心となるのは国境を越えて自由にアイデアを交換する事になると考え、世界トップクラスの音楽学校と交流ネットワーク築いてきました。すべての音楽学校は王立音楽院の長くからの友人であり、また交流が再開できることは非常に励みになりました。どの学校も将来の音楽家育成のために視野を広げ取り組んでおり、これからの交流やプロジェクトを通じて経験や文化を共有できるという見通しはとても楽しみなことです」と述べています。

「音楽院の卒業生でもあるエルトンは、長年にわたり留学生に多大な支援を提供し、若い音楽家たちが最適な豊かな環境で、芸術家として発展できるように深く取り組んでいます。私たちは、このプロジェクトに彼の名前を冠し、彼の支援に謝意を表します」

エルトンは夫のデビッド・ファーニッシュと共に、2022年1月の式典でリージェンツ慈善事業家裁判所の一員として認められ、音楽院の卒業生で最も寛大な支援者となっています。国際交流プログラムは、主にエルトンが創設した既存の基金によって支援されており、複数の分野にわたり才能のある音楽家に奨学金を提供しています。そしてこの恩恵の範囲は、国際的な教育フォーラムと交流の必要性の高まりを受けて拡大されたのです。

王立音楽院とその提携音楽学校から年間最大 20 人の参加者が、短期共同プロジェクト、1 学期または 1 年間の、受入機関における授業料の提供を受けます。

エルトンは「私の情熱は、次世代のグローバルアーティストの育成を支援することに向いています。音楽は国境を越えることができる、越えるべきものであり、多くの国から集まる才能ある若い音楽家たちに、高いレベルの交流機会を提供するスキームを支援できることを嬉しく思います」と述べました。

「2022 年に創立 200 周年を迎える英国王立音楽院にとって、このプログラムは、私たちの腕を開き、国際的なパートナーとのコラボレーションを祝う新たな機会を与えてくれます。大小の様々なプロジェクトは常に多くの恩恵と喜びをもたらすことでしょう。多くの素晴らしい世界的に有名な音楽学校が参加し、若い音楽家たちにユニークで実践的な経験を提供するのを目にすることができることをうれしく思います。

1822 年に設立された王立音楽院は、200 年近くにわたり世界中から来た音楽家を育成し、常にその国際的な視点が評価されてきました。その最初の教授の多くは、ヨーロッパ本土からきた著名な音楽家であり、今日まで続く国際主義に焦点を当てていました。最近のコラボレーションとしては、20 年来プロジェクト提携しているジュリアード音楽院と 2019 年に行った BBC プロムとのプロジェクトで、ニューヨーク州ラジオシティにおいて合同オーケストラとエルトン・ジョンの出演する 5 公演コンサートを行いました。

ジョナサン・フリーマン・アットウッドは「このプログラムを推進しているのは音楽的（音楽のみならず全ての芸術的）な必要性です。それは、異なる国同士の創造的な要望と、協働のための開かれた精神に対して積極的に取り組み、境界や障壁の種類を打破する必要性です」と述べています。

「エルトン・ジョン卿国際交流プログラムが今後数年間で若い音楽家にもたらす恩恵を楽しみに、また音楽院がこのプロジェクトの一役を担えることを嬉しく思います」